



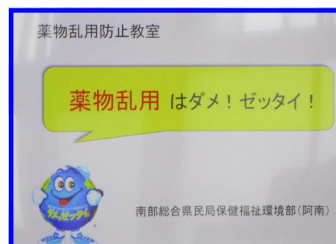
## 6年生の『薬物乱用防止教室！』の学習

7月17日（水）5時間目、6年生が「薬物乱用防止教室」を行いました。ゲストティーチャーとして、阿南保健所の郡さんをお招きしました。

郡さんからは、「薬物乱用は、ダメ ゼツタイ」というお話をいただきました。

(1) 最初に、「薬を使うときは、どんなとき？」について次のようなお話がありました。

- ① 「病気やけがをなおすとき」
- ② 「健康な生活を保ち、助けるとき」
- ③ 「身体の正常な働きをうながすとき」



(2) 薬を使う際には、

- ① 「正しく薬を使わないと、有害なことが起こる」
- ② 「命に関わることになる」

ということを考えることが大切であると教えていただきました。

(3) 薬を正しく使用するときには、

- ① 「薬を飲むタイミングを考える」
- ② 「薬を飲む量と飲む期間を考える」
- ③ 「薬の飲み合わせを考える」

という3つのことに注意することも教えていただきました。

さらに、「薬物乱用」とは、薬を病気や傷の治療以外の目的で使うことで、1回だけでも薬物乱用になるということをお話いただきました。6年生の子どもたちは、みんな真剣に話を聞いていました。

最後に、「薬物の誘いをよせつけない自分になる！」ための4つの方法についてのお話がありました。

### <大切な自分を守るための4つのポイント>

- ① あなたの気持ち（うれしかったことなど）に向き合う。
- ② あなたを大切に思ってくれる人のことを考える。
- ③ あなたが好きなもの・ことや、あなたがこれからやりたいこと・将来の夢について考える。
- ④ 薬物についての正しい知識をもつ。

### 悩んだときには、まず相談を！

- ◎周囲の信頼できる大人（親・学校の先生など）
- ◎相談窓口（徳島県薬務課、精神保健福祉センター）

☆日頃からお子さんといろいろなお話をしていることだと思いますが、この機会にお子さんと「健康や命の大切さ」についてのお話もしていただけたいと思います。

